

次の5つの改革の柱を設け活動を行なってきました。「組織構造改革」「アウトソーシング戦略」「地域内分権の推進」「受益と負担の改革」「人事・給与制度改革」を行い、当初の計画は、概ね達成できたものと考えていますが、新たな課題も見つかり、今後の方向性を見出しています。

**問** 結果の公表はされるのか。

**答** ホームページを通じて公表してまいりたいと考えています。

**問** 今後の取り組みは。

**答** 総合計画に連動させ、「財政規律と予算編成の改革」「経営基盤の改革」を掲げ活動していきます。



### 「生涯現役のまちづくり」と「家庭的保育の拡充について」

小野田由紀子 議員

**問** 大規模施設「夢のみずうみ村」が、健康をキーワードに取り組み「生涯現役のまちづくり」について、今後どのように取り組んでいくのか問う。

**答** 夢のみずうみ村という施設の中で展開されている健康増進、介護予防のプログラムを、高浜の街中をフィールドとして実施するため、調査、研究を行っていきます。仮称「健康リハビリ巡礼札所事業」として事業展開を図っていく。

この事業は、拠点となる施設を中心に、公民館、図書館、美術館、商店といった社会資源を1番札所、2番札所、3番札所と称して順番に回る。つまり、巡礼するというものです。それぞれの札所においては、訪れた高齢者の皆さんに、様々な健康増進と介護予防を目的としたプログラムを実施し、元気と健康を享受していただきます。

札所の数もいづれは地域に88か所まで増やし、毎日の巡礼を高齢者一人ひとりが自ら

選択、決定して活動することにより高齢の皆さんがお元気になることを目指します。

**問** 家庭的保育事業の今後の拡充について問う。

**答** 本市の家庭的保育事業は「となりのおばちゃん」「こっこママ」「あいあい」の3か所。今後の家庭的保育の充実、拡充にあたり、市の単独事業ではなく、国庫補助事業として実施することが、安定して継続的な運用ができるものとの考えから、国庫補助対象となり得るよう制度の見直しに取り組んでいるところで、来年度以降に新たな家庭的保育事業制度をスタートさせてまいりたい。



### 防災行政について

鷲見 宗重 議員

**問** 想定の変更をして、高浜市独自で地域防災計画の見直しが必要ではないか。

**答** 中央防災会議の検討結果を踏まえ、防災計画並びに年内に見直しが予定されている県の地域防災計画に基づいて見直しを図ります。

**問** 液状化の可能性が高い地域にある洲崎公園や津波が堤防を越えた場合、避難してきた人に危険の及ぶ東海会館、港小学校、安立荘等があり、速やかに避難場所、避難所の指定については見直しが必要ではないか。

**答** 洲崎公園は、地域の「広場避難場所」として避難所指定を解除する考えはありません。東海会館、港小学校、安立荘は今後、津波の被害想定が変更された場合には見直しを行います。

**問** 東海会館、港小学校も液状化の可能性の高い地域になっています。高浜市において、液状化対策は目に見えてこないがどのようになっているのか。

**答** 液状化する可能性のある地域を液状化マップで知らせます。

**問** 高浜市でも独自に被災地支援の一般市民ボランティアを派遣する制度が必要だと考えるが、計画はあるか。

**答** 高浜市独自では計画していません。

### 教育行政について

**問** 高浜小学校北校舎が雨漏りしています。早急に補修をすべきではないか。

**答** 現時点では緊急に修繕する考えはありません。

